

学生による授業評価 『平成 30 年度授業改善アンケート結果報告』

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、平成 21 年度から学生による授業評価を組織的、継続的に実施している。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD 活動を展開している。

臨地実習科目は平成 29 年度に授業評価を実施しており、平成 30 年度は講義・演習科目を中心に行った。また、本年度は、川崎医療福祉大学の改組により転学科が決定している臨床検査科、医療保育科、放射線技術科の 3 学科は除外し、看護科、医療介護福祉科 2 学科の学生を対象とした。実施科目は、専任および非常勤講師が担当する授業科目とし、前期・後期それぞれの学期末に授業評価を受けた。

アンケートの調査内容は、1) 学生の自己評価 (4 項目)、2) 授業の基礎的な事項 (4 項目)、3) 学習の推進に関する事項 (3 項目)、4) 総合評価 (2 項目) の計 13 項目とした。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の 5 段階評価とした。学生には Web (moodle) でアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は前期、後期とも 4.2 と高い満足度が示された。

